

市議会だより

北九州市議会事務局



昭和45年4月15日 No. 29

戸上山（門司）から足立山方面を望む

二月定例会

二月二十七日から二十五日間の会期で開かれましたが、最終日に議事の都合で会期を一日延長し、三月二十四日に終わりました。

審議された議案は、四十五年度予算をはじめ、四十四年度補正予算、各種条例、人事議案ならびに議員提案による決議など百六件と公有水面埋立てに関する諮問三件です。

このうち、四十四年度補正予算など三十八件と諮問三件は、それぞれ関係の常任委員会に付託されいづれも原案のとおり可決、承認ならびに支障ない旨回答することに決まりました。

さらに、四十五年度予算など五十七件は、議員全員で構成する予算特別委員会に付託され、慎重に審議されたのち、いづれも原案のとおり可決されました。

また、人事議案三件は委員会に付託することなく直ちに採決されすべて原案のとおり可決されました。

議員提案による八件も即決され、「市長の専決処分事項の指定についての一部改正」「新幹線対策について」「山田弾薬庫の平和利用決議」「監査の請求」の四件は可決されましたが、「北九州市議会委員会条例の一部改正」ほか三件は否決されました。

なお、各特別委員会の中間報告および北九州港管理組合議会議員、笹尾川水利組合議会議員の補欠選挙も行なわれました。



三月五日から九日まで、代表質疑、一般質疑が本会議で行なわれました。以下、市民生活に関係の深いものからとりあげました。

「線引き」には 慎重な配慮を

新都市計画

議員 二月二十四日開かれた市の都市計画審議会では、線引きについて県案の説明もされなかったが、市当局として県の動きを前もって知らなかったことは、あまりにも連絡が不十分ではないか。

市長 この問題で知事との連絡が十分でなかったことをおわびする。今後、この取り扱いについては知事と早急に意見交換したいと思っている。

議員 県案発表で関係市民は動揺しているが、今後この問題に対してどんな措置をとるつもりか。

市長 決してこの案が最終案というわけではないので、今後あらゆる機会に利害関係者の意見を十分聞いたうえで、最終的な案の決定に反映させたい。

なお、建設省が指示している三月末までという期限には、とうてい間に合わないと思っている。

議員 県案に対して修正などの措置がとれるか。

市長 「県案は認めることとはできない。白紙撤回してはどうか」との強い意見も一部にある。

しかし、この案は県の素案であり修正もできるのだから、今後は、そういった問題を含めて、最終決定までに知事と意見交換もするし、国にもあたるなど十分な時間をかけたい。

議員 本市の場合、他の先進都市に比べ、スプロール化が少ないので、早急に線引きを決定する必要はないと思うがどうか。

市長 線引きは早急に決定できるとは思っていない。ただ最終的に、いつまで決定すればよいのか、あるいは線引きが遅れた場合、国の援助はどうなるかなどについて、国の意向なども確かめたい。

議員 線引き変更の調査が五年

ごととなっているが、これを短縮するように国、県に要請する考えはないか。

市長 都市化の進みぐあいによって、弾力的に修正できるチャンスはあった方がよいと思うので検討したい。

議員 本市の中期計画と線引きとの関係はどうか。

市長 線引きによって計画制限事業制限という具体的行政措置が生じてくるわけだが、中期計画は大まかな町づくりの基礎となる事業を盛り込むだけのものであり、この計画が決まらなければ、線引きができないというものではない。

(注) 県案とは二月二十七日、県が発表した新都市計画法による北九州都市圏の素案のこと。

線引とは市街化区域と市街化調整区域の地域指定による境界線の決定のこと。
スプロール化とは都市の急激な発展に伴う、郊外部の無秩序住宅化、虫食いの発展をいう。

初期消火に

万全の対策を

議員 昨年内で発生した火災は五百六十三件、本年もすでに相当数発生している。

これは消防車の現場到着に時間がかかりすぎるのではないか。

また最近、各沿岸に大規模な石油タンクが建設されているし、タ

ンカーの出入りも増加している。これらがいったん火災になった場合たいへんなことになる。

この対策として、水上消防署を設置し、消防艇などの整備充実を図るべきではないか。

市長 根本的には市街地の再開発を行ない、防災街区をつくらなければ解決できない。

したがって、今後は機材の整備を図るとともに、交通事情にに応じた新しい消防体制を確立したい。

消防局長 三分から五分で現場に到着している。消防車の進入路についても、時間帯による交通状況をはあくし、経路などは火災のたびに反省、検討を行なってい

る。

また水上消防は、海上保安部が四隻、洞海消防が八隻持っている。これに本年完成する市の消防艇を主軸とした海の防災体制を整えたい。

火葬場の

統廃合を図れ

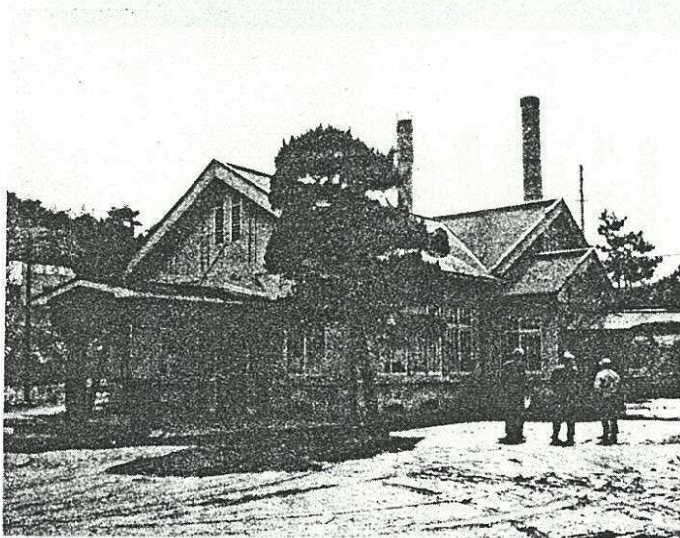
議員 市内には火葬場が十一か所もあるが、いずれの施設も古く、また最近周辺に住宅が増加したため、その運営に支障をきたし、環境のうえからも好ましくない。

これを市内の中央と東西の三か所程度に統合してはどうか。

また、火葬場使用料を減免する考えはないか。

市長 二、三か所に統合し、それぞれ十分な用地を確保して、公園化した霊場を作る考えである。

火葬場使用料の減免は、手数料、使用料全般の中で検討し、必要なものから先に軽減を図るつもりである。



八王寺火葬場 (八幡区)

勤労会館などの建設を促進せよ

議員 魅力ある勤労都市北九州のシンボルとして、勤労者福祉総合センターや勤労会館を建設してはどうか。

また、中小企業などに従事する人のための独身アパートを各区に建てる考えはないか。

市長 本年一月、労働福祉問題協議会から、勤労者福祉総合センターと勤労会館の建設が、勤労者の文化、教養を高めるために有効であるとの答申がなされたので、これを中期計画の中に盛り込んで早い時期に建設したい。

勤労宿舎については、雇用促進事業団に新年度も建設してもらおうよう折衝したが、条件の面で話し合いがつかなかった。

今後とも強く働きかけていきたい。

現在、小倉と八幡にあるが、今後は各区に設置するより、勤労者の便を考えた適地に増設したいと思っている。

遊覧におわらせるな

青年の船

議員 青年の自覚と連帯感を高める目的から、「青年の船」を立て、韓国・沖縄を訪問する計画だが、単なる遊覧におわらないか。

ほんとうに青年の教育振興を願うならまだほかにも方策があると思うがどうか。

市長 出発前にも「青年の家」で数回研修を行ない、目的をはっきり認識させるし、専門の指導員も付けるようにしている。

この計画は、いわば「動く青年の家」ともいべきもので、決して遊覧的なものではない。

老人に

いこいの家を

議員 老人対策は年々充実されているが、さらに「老人のいこいの家」を設けてはどうか。

市長 「老人の家」建設についてはいろいろ要望もあるが、各地区ごとに建てるに経費、用地の面で非常に困難なので、公民館を利用してもらいたいと思っている。

利用するにあたって、改造あるいは設備の面で老人から要望があればこれに応じたい。

小中学校に

暖房設備を

議員 最近、鉄筋校舎が多くなったため、教室の冷え込みがひどく集団かせ発生の遠因にもなっている。小中学校の全教室に暖房を設置してはどうか。

また、新年度に小中学校の机、いすをすべてスチールに更新することだが、暗い教室を解消し、児童、生徒の目と健康を守るための照明を設備する方が先ではないか。

市長 まだ木造校舎の多い本市では、火災等の危険も配慮しなければならぬと思うが、他都市の実情等を調査して検討したい。

照明を利用するのは、雨天のときなど特殊な場合であり、机、いすの更新の方が喜ばれると思う。

しかし、暗い教室解消のため、二、三年間で計画的に整備していきたい。

バスにも適用せよ

若戸渡橋料の軽減

議員 新年度から若戸渡橋料金の一部が軽減されるが、なぜバスにも適用しなかったのか。

市長 市営、西鉄バスとも現在の経営状態からして、市が渡橋料金の一部負担として経費の繰り入れを行なっても、運賃値上げは必至であり、かえって市民の批判を受けることになるので適用しなかつた。

しかし、運輸省がバスの渡橋料金値下げについて建設省と話し合うことになっており、市としても今回の軽減措置を突破口として料金値下げに努力していきたい。

大企業払下げは適法か

変則市営住宅

議員 八幡製鉄その他の大企業によって管理されている市営住宅を、今回一部を除き、それぞれの企業に払下げることだがどの法律にもとづいて行なうのか。

また、払下げには、建設大臣や県の承認が必要と思うが、その手続きはされているのか。

市長 実質は社宅として建てられ、名義は庶民住宅という変則的なものを、今回一挙に解決しよう



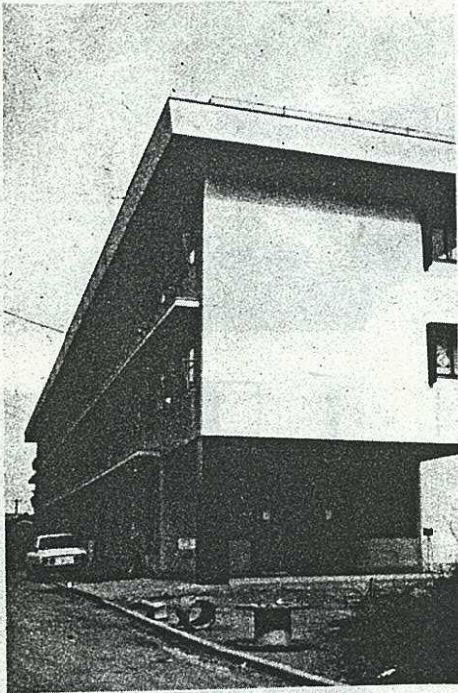
若戸大橋料金所

とするものである。

しかし、これは公営住宅法の適用を受けて建設された住宅ではないということ、はっきり認識されないと、この問題の理解はできない。

この変則的市営住宅は、戦災を受けた旧八幡市が、戦後の住宅難で頭を悩ましていたころ、昭和二十一年五月、連合軍の命令で生産復興に従事する労働者の住宅を建てることになり、企業側の協力（土地の提供、建設費の負担など）で建設されたものである。

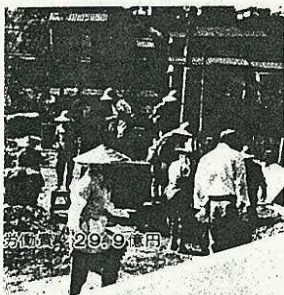
これは、全国的にも例のないことであり、払下げについて建設省の非公式な指導も受けた。用途廃止の許可申請は出してある。



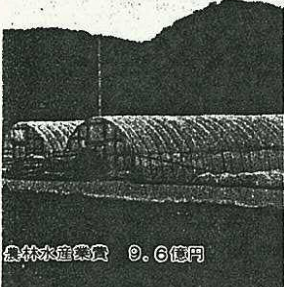
勤労青年共同宿舎 (小倉区)



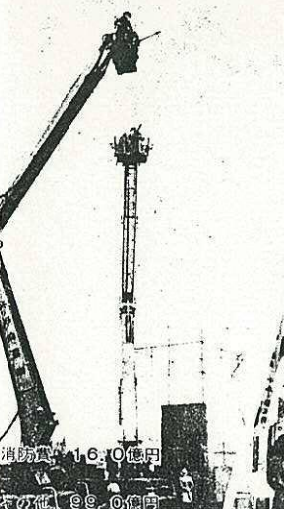
上水道 88.4億円 工業用水道 9.4億円
下水道 10.9億円 病院 39.7億円



労働 29.9億円



森林水産業費 9.6億円

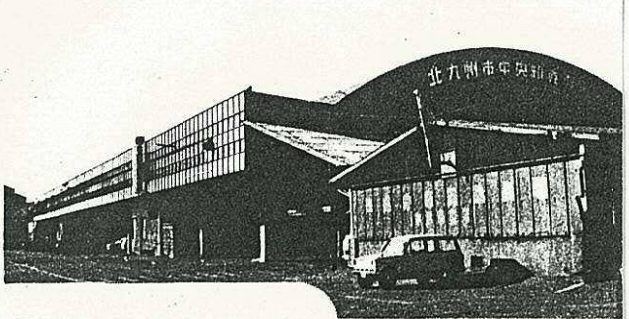


消防費 16.0億円
その他 88.0億円
商工費 17.5億円

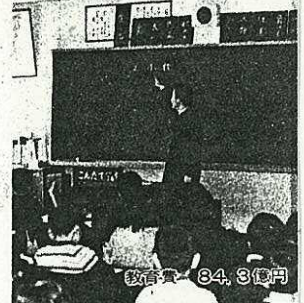


45年度予算を可決

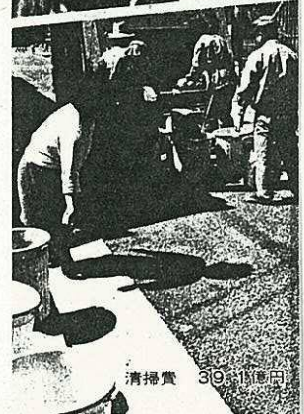
総額 1,109億4,311万円



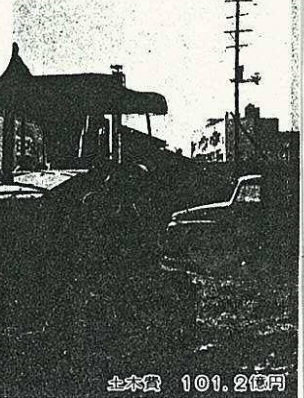
北九州市中央図書館



教育費 84.3億円



清掃費 39.1億円



土木費 101.2億円

委託制度を再検討せよ

民生事業における社会福祉施設の運営管理は福祉事業団に、世帯更生資金および高令者職業紹介所などは社会福祉協議会に、それぞれ委託している。

しかし、最近の福祉事業の拡大に伴い、現在の委託制度のあり方について再検討の必要が生じている。特に委託団体の体質的な弱さや人事管理の停滞が、勤労意欲の

収入限度額の引上げ

市営住宅の入居者には収入限度額を超過したものが多く、これは最近市民全般の収入が増えたためであり、実情にあった入居基準とするため、収入限度額の引上げについて国と交渉すること。

また、市営住宅は低所得者の住居を確保することが目的であり、著しく収入の超過したものに對しては、他の住宅をあっせんするなどして低所得者の入居を利便を図ること。

市民負担の軽減を図れ

市内には町内会等で設置した防犯灯が二万七千灯もあり、電灯料などの維持費約五千三百六十八万円は住民負担となっている。

今後、関係常任委員会とも密接な連絡を保ちながら、市の設置基準に該当する防犯灯については、市に引き取り維持管理し、また電灯料の減免などについても積極的に九州電力と交渉して、住民負担の軽減を図ること。

収入限度額の引上げ

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

収入限度額の引上げ

このことは住民サービスの低下にもつながるので、早急に委託制度の一元化を図るため検討を行なうこと。

郊外に養豚団地を

畜産公害の防止

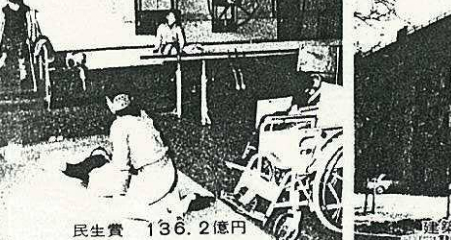
本市の養豚業等は、最近の急激な都市化の進展に伴い、市街地区住民の間では、特にその「畜産公害」による影響が深刻な問題となっている。

このようなことから、当局としても「畜産公害防止施設に対する補助金」など諸施策を講じているが万全とはいえず、これら解決にあたっては、市街地の外に養豚団地等の建設をするなど、根本的な対策を図ること。

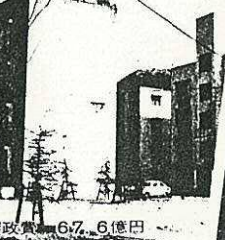
一般会計 624.4億円



衛生費 24.0億円



民生費 136.2億円



建築行政費 67.6億円



土木費 101.2億円

高架をトンネルに

山陽新幹線

議員 新幹線の開通に伴い、市街地の大半は高架線になるため、沿線の住民は、列車の通過のたびに騒音、震動などの「鉄道公害」にさらされるが、この高架線をトンネルに変更できないか。

市長 トンネルにすることが、公害を最少限にとどめるためにも望ましい。ただ地形的にみて困難ではないかと思う。

したがって、国鉄と十分話し合い、沿線の住民に迷惑がかからないようにしたい。

本来の趣旨を

逸脱してないか

就職等祝金

議員 失対就労者の再就職、自営業転職者に対し、二月二十八日まで申請した者に一人二十一万円の就職祝金を出すことになり、約九百人がこの祝金を受け取っている。

しかしこのうち、ほんとうに就職等をした人は約一割にすぎず、あとの人はこの祝金を本来の目的に使っていない。

このことは、当局が失対就労者の弱みにつけ込んで、人数を減らすことを目的として、この制度を利用したものといえるが、これについての見解はどうか。

また、三月一日以降も申請を受け付けるのか。

市長 失対の長期就労者の雇用促進を図る目的をもって、この制度ができたと思う。

これにもとづいて就職者などに

大企業も

条例対象にせよ

議員 公害防止条例案について次のことを伺いたい。

①公害防止対策審議会の委員に中小企業と労働者の代表を入れるべきと思うがどうか。

②大企業の公害発生源に対する規制を強めることが、公害防止に有効な方策と思うが、今回提出された条例案では大企業をその対象からはずしているのはなぜか。

③市の責務となっているが、権限が委譲されたのは市長だから、当然、市長の責務として条例で明らかにすべきではないか。

④大気汚染防止法による排出基準とあわせて、工場または事業所ごとの総排出量の規制基準を定めることはできないか。

⑤施設の設定、変更に対し届出制となっているが、これを許可制にしてはどうか。

市長 ①審議会の構成をいま改める考えはない。

②法律で規定されているものを条例に入れる必要はないと思う。また、公害防止のうえから必要

祝金を出したものであり、受け取った方が悪用されているからといって、この制度が悪いとはいえないと思う。

なお、三月一日以降の申請は受け付けない。

がある場合は、それぞれの企業と協定を締結し、履行してもらおう考えである。

③市の責務は当然に市長の責務である。

④公害に対する調査を綿密に行なったうえで、いずれは工場ごとの総排出量について、協定を結んで規制したいと思っている。

⑤大気汚染防止法の適用を受けている大企業は届出制になっているので、条例で許可制にすることは中小企業だけが許可制となり矛盾することになる。

自然公園として整備

花尾・河頭山

議員 花尾山、河頭山は市民のレクリエーションの場として最適な場所である。

とくに河頭山の一部は、所有者から公園にすることを条件に、旧八幡市に寄付されたものだが、いまだに整備されていない。

これを自然公園として整備してはどうか。

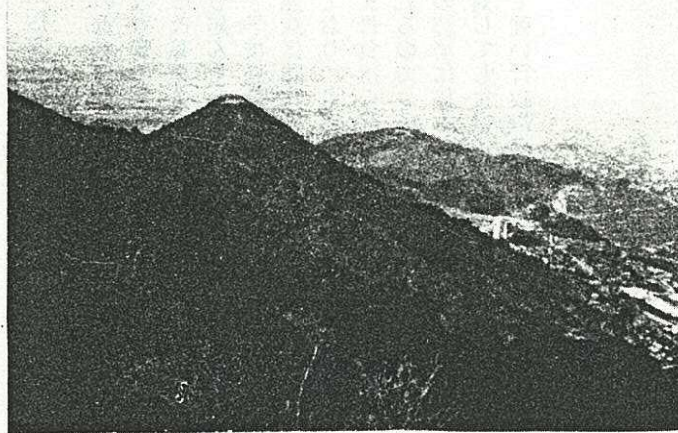
市長 新年度、林野庁の指定を受ける自然休養林地区に、この山は含まれているので、展望施設、山頂の広場、遊園地等を計画して市民のいこの場となるよう整備したい。

市立高校に看護科を

議員 最近の看護婦不足は深刻な問題となっているが、この際、市立高校に看護科を設けてはどうか。

病院局長 看護婦の養成機関は医師会、各病院の付属看護学院をはじめ、最近、私立高校にも看護科が設置されるなど、市内には数多くある。

市としては、高度医療に即応させるために、現在の市立高等看護学院の施設充実を図って生徒数を増員することに重点をおきたい。



花尾・河頭山(八幡区)

完全実施を図れ

し尿・ごみ収集の

議員 ごみ収集週二回、し尿収集二十日に一回と決まっているのに、いまだに完全実施されていないがどう対処するつもりか。

清掃事業局長 ごみ収集の現状は、週二回どおり、収集率九十八パ

ーセントでほぼ目的は達成できたとと思う。

しかし、し尿収集は二十日以内が五十三パーセント、二十五日以内が三十九パーセントなので、今後、作業困難地域の解消、作業方法の改善、作業員の出勤率の向上などにつとめ、収集の完全実施を図りたい。

補助増額はできないか

私立幼稚園

議員 本市には私立幼稚園が多く、その経営状態も好ましいものとはいえない。したがって保育料なども高く、いきおい父兄にしわよせされている。

この際、市の補助金を大幅に増額するなどの考えはないか。

教育長 現在、先生のための研修、研究費の補助あるいは園舎の増改築に対する融資をするなど、種々の助成措置を行なっている。新年度も大幅に増額しているが、今後とも合理的な助成策などを検討していきたい。

万葉歌碑は

ゆかりの地に

議員 “文化のサバク”といわれる本市で万葉歌碑を建設することは有意義であるが、歌碑はその詩によまれていくゆかりの地にあるからこそ、その価値があると思う

が、これを一か所に集めることによって、市民の間に不満は生じないか。

市長 愛好者からの願いもあり保存、管理を十分行なうため、なるべく小倉にゆかりのあるものを集めて、勝山公園に建設するつもりである。

市民に開放せよ

競輪・競艇場

議員 競輪、競艇の開催時には周辺地域の市民にたいへん迷惑をかけているようだが、この対策をどう考えているか。

また、開催日以外は、場内の遊休施設を開放し、市民のレクリエーションの場として利用させてはどうか。

市長 周辺地域の市民の要望にこたえるため、今後も引き続き駐車場の増設や道路の改良などを行ないたい。

場内の施設利用については、できるだけ開放したい。

常任委員会から

二月定例市議会に提案された四十四年度一般会計の補正額は四億九千五百万円で、おもなものは職員給与改定に伴うものならびに失対就労者に対する就職等祝金などです。

各常任委員会では、これら補正予算のほか各種条例の一部改正など三十八議案について審議し、次のような要望を付けて、いずれも原案のとおり決めました。

市民の利便を考えよ

市道の認定

市道として新たに二百七路線を認定し、また百四路線を廃止、変更するための議案が提案されました。

委員会では、今回提案された認定個所以外にも、実際には市民の利用状況から整備せねばならないところも見受けられるので、実態のはあくにつとめ、市民の利便を第一義とした市道認定基準の整備をするよう要望しました。

バス事業の再建に

なお一層の努力を

バス事業は、その財政を立て直すため財政再建計画にそって運営されていますが、バス運賃の値上げと職員給与の改定を行なうため今回、計画を変更しようとするものです。

変更するのは好ましくないので国に補助の要請をするなど事業の再建に努力するよう要望しました。

公共用地の取得には

進入道路の配慮を

仮称第二篠崎中学校および仮称第二曾根中学校の建設用地を取得するための議案を審議した委員会では、今後学校あるいは住宅等の建設用地を取得するときには、関係各局との連絡を密接にし、進入道路の確保や水道の敷設あるいは防火対策などにも十分配慮して行なうよう要望しました。

人事紹介

二月定例市議会で、次のかたがたが選ばれました。

(敬称略)

北九州港管理組合議会議員

大庭 勇
加来 茂
本庄 光宏

笹尾川水利組合議会議員
金子 積

福岡県公安委員会候補者

秋本 正夫
萩原 弘

北九州市人事委員会委員

川崎 正治

北九州市固定資産評価員

田中 茂生



審議中の委員会

請願と

陳情



請願

採択されたもの

- 。交通信号機設置等について（八幡区楠橋緑ヶ丘）
- 。吉田団地内市立保育所設置について（小倉区）
- 。乳児保育所設置について（六件）
- 。引野小学校および第二引野小学校（仮称）の施設整備について
- 。若松区民ランドおよびラグビー競技施設の設置について
- 。篠崎中学校校舎の増改築について
- 。騒音防止対策について（八幡区本城）
- 。道路補修について（八幡区上津役馬場）
- 。集会所設置について（門司区錦町）
- 。児童文化センターの施設拡張等について
- 。文化会館建設について（二件）
- 。八幡区青少年育成会補助金増額について
- 。道路舗装について（小倉区清川町）
- 。青年の船乗船の人員増加および資格条件の緩和について

不採択になったもの

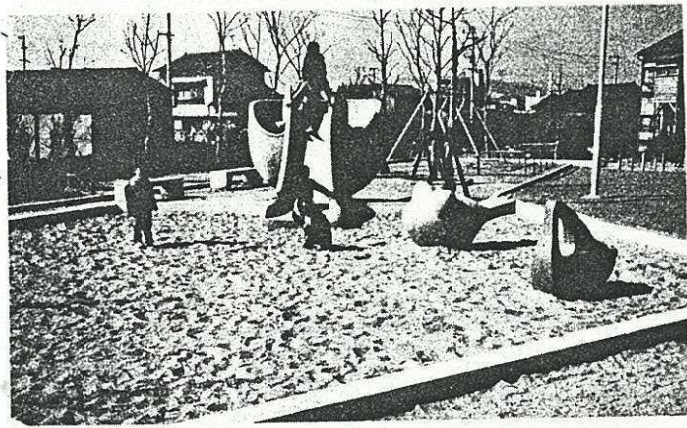
- 。学校図書購入費の増額について
- 。門司競輪開催時における環境整備について
- 。消火栓の新設について（八幡区吉野団地、小倉区熊谷町二丁目）
- 。消火用水槽設置について（八幡区勝山町）
- 。公立保育所の増設について
- 。ちびっこ広場の増設について
- 。水道管布設について（門司区緑町）
- 。市職員勤務時間短縮について（三件）

陳情

採択されたもの

- 。市職員の勤務評定の廃止について
- 。徴収事務等委託員の処遇改善等について
- 。水道本管布設について（小倉区日明緑ヶ丘）
- 。道路舗装について（小倉区田町、上到津）
- 。本城西地区区画整理事業の援助指導について
- 。体育館建設等について（小倉区広徳小学校）
- 。幼稚園の適正配置について
- 。食品行政強化のための予算増額について
- 。上津役中学校校舎移転改築について
- 。養護教諭配置について
- 。小中学校消防設備の保守点検整備について
- 。カネミライスオイル被害者の会に対する助成について

不採択になったもの



請願が採択されつくられた児童公園

昭和四十五年予算

一般会計 六二四億四、〇三七万二千元
普通特別会計 三四一億五、六九七万三千元

昭和四十四年度補正予算

一般会計 四億九、五二四万四千円
普通特別会計 二億三、二四六万六千円
企業会計 四億三、〇九三万六千円

児童福祉施設条例の一部改正

第二ひまわり学園、南小倉児童館の新設に伴うもの

心身障害者扶養共済制度条例

心身障害者の保護者の死亡または廃疾後の心身障害者に年金を支給するためのもの

国民健康保険条例の一部改正

賦課額の最高限度額、端数計算等を改めるもの

災害弔慰金および見舞金に関する条例の一部改正

弔慰金および見舞金の額を増額し、その支給対象範囲をひろげるもの

あき地等に繁茂した雑草等の除去に関する条例

市民の健康を保護し、生活環境の保全を図るため、公害防止に必要な事項を定めるもの

清掃条例の一部改正

焼却場等への自己搬入手数料を軽減し、不法投棄の防止を図るもの

風致地区条例

風致地区内における建築等について必要な規制を行なうもの

市立小学校条例の一部改正

南丘小学校（小倉区）および竹末小学校（八幡区）を新設するもの

市立中学校条例の一部改正

志徳中学校（小倉区）を新設するもの

玄海青年の家条例

玄海青年の家建設に伴い、必要事項を制定するもの

公民館条例の一部改正

使用料減免の対象範囲をひろげるもの

文化財保護条例

市内の重要な文化財等の保存およびその活用を図り、必要な措置を講ずるもの

体育施設条例の一部改正

香月柔剣道場を無料開放するもの

区役所出張所設置条例の一部改正

門司区役所大里出張所および若松区役所島郷出張所の新築に伴い、その位置を変更するもの

自動車事業使用料および手数料条例の一部改正

市営バスの運賃および料金を改定するもの

2月定例会で決まった

おもなもの

- ▽風致地区条例
- ▽市立小学校条例の一部改正
- ▽市立中学校条例の一部改正
- ▽玄海青年の家条例
- ▽公民館条例の一部改正
- ▽文化財保護条例
- ▽体育施設条例の一部改正
- ▽区役所出張所設置条例の一部改正
- ▽自動車事業使用料および手数料条例の一部改正
- ▽下水道条例の一部改正
- ▽水道条例の一部改正